

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	小城市立三日月小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標や経営方針を保護者や地域の方々にも周知し、連携・協働体制を強化していく必要がある。 ○ ユニバーサルデザイン化と対話を重視した指導方法の工夫を行い、「わかる」「できる」「楽しい」授業を目指した校内研究は、教師の充実感につながっている。学習状況調査や児童と保護者の意識調査から、児童の「わかる」にもつながっていると言える。 ○ 全校で「思いやりのある言動」について、徹底的に指導を行った。その結果が「学校が楽しい」と感じている児童の増加やいじめの認知件数の減少につながっている。今後も、お互いを認め合う「風土づくり」や、「学級づくり」・「仲間づくり」の充実努める。 ○ 「あいさつ」については、児童・教師と保護者との評価にずれがあった。今後は、家庭や地域にも協力を呼びかけ、いつでも、どこでも、誰にでも挨拶ができる児童を育てる。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>あいさつ 笑顔 思いやり 心をそらえて チーム三日月 ～正しく かしこく 美しく～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>① 教育目標、重点目標、学年・学級目標の一貫性 ② 確かな学力の向上のための指導法・指導体制の充実 ③ 魅力ある学級経営を目指すとともに、協働体制による学年及び特別支援学級経営の推進 ④ 中学校までの9年間の学びを見通した指導を進める ⑤ 特別支援教育の視点をベースにした個への支援と集団支援の融合</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取り組みの促進を図る。							学力向上対策コーディネーター 研究推進委員
	○ユニバーサルデザイン化と対話を重視した指導方法の工夫	○授業についてのアンケートで、「わかる」が75%以上 ○4～6年の学習状況調査で佐賀県平均以上	・ユニバーサルデザインの考えに基づいた「め」「み」「か」「つ」「き」の学習過程の実践を徹底する。 ・学校生活の中で、理由を話したり書いたりする場面を積極的に設定し、正しく言葉を使うことができるように指導していく。							研究主任 研究推進委員 学力向上対策コーディネーター
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートで、思いやりの項目の肯定的評価が90%以上	・月1回の人権教室と平和集会を学級・学年・全校で実施 ・全教科、全領域で、実態に応じて具体的な事例を用いて指導							道徳教育推進教師 道徳担当
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○心のアンケートで「学校が楽しい」と回答する児童を90%以上	・心のアンケートを月1回実施 ・教育相談週間及び「先生への手紙」の実施 ・「規範作り」と「リレーション作り」に全職員で取り組む ・事案に対する即日対応							生徒指導担当 教育相談担当
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動	○難しい問題でもあきらめないで取り組む児童80%以上 ○クラスの友達に認められていると感じている児童70%以上	・毎学期始めに、学習や生活に関する個人の目標を設定させ、学期ごとに振り返る。 ・教職員による児童の良いところ見つけ、学級や学年で友達の良いところ見つけを行い、積極的に紹介をする							教頭 教育相談担当
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	●道路の歩き方や自転車の乗り方について、交通ルールを守っていると答える児童90%以上	・校区内巡回パトロール(週1回)、月1回の交通安全の日の交通立番、年度初め・学期始めの交通立番の実施 ・育友会と連携によるヘルメット着用推進							安全指導担当 生活指導担当
	●望ましい生活習慣の形成	○コロナ禍に伴い、感染症予防の習慣化のため、毎週月曜に実施している生活衛生チェック表の取り組みができていく児童70%以上を目指す。 ○給食の残滓率5%以下	・生活衛生チェック、保健室と3つの約束、委員会実施の「げんきカード」などの活用。保健タイムを利用した、全校一斉指導の実施。 ・給食日常点検表の活用。6月と11月に朝の全校一斉給食指導の実施。給食週間の取り組み。							養護教諭 栄養教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限遵守	・報告・連絡・相談の徹底による組織的な対応 ・回覧版の活用による、会議や連絡会の時間を短縮 ・自らの業務改善を自己目標に設定							教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育	○個別に支援が必要な児童に対する支援方法の検討、実施、評価	○個に応じた支援を心掛けた教員が90%以上	・全職員で対象児童の情報を整理、共有し、支援方法の検討 ・通常学級での支援方法を校内で研修							特別支援教育コーディネーター
○小中連携	○小中で児童・生徒の情報共有とスムーズな移行	○6年担任、教育相談担当、生徒指導、特別支援担当による中学校の担当者と、年間5回以上情報交換会	・授業を公開し、研究会に参加 ・生徒指導や教育相談に関わる合同の研修会を開き、課題を共有し解決							小中連携担当 6年学年主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------